

6人か...
町の陣屋前朝市で買い「マネキ、ネギか...

宮中生、目指せ！ものづくりマイスター

職人の技に触れる

高山市一之宮町の宮中学校で5日、生徒がものづくりの大切さを学ぶ「目指せマイスター」プロジェクトがあり、大工や畳職人らの熟練の技と精神に触れた。
(松久高利)



ものづくりマイスターに教わりながら畳の手縫いを体験する生徒＝高山市一之宮町、宮中学校

建築や畳製作など教わる

建築大工、フラワー装飾、畳製作、電子機械組み立ての4職種の厚生労働省からの認定を受けた「ものづくりマイスター」ら8人が訪問。全校生徒74人が希望の職種に分かれ、講話を聞いたほか、ものづくりを体験した。

畳製作では、松葉製畳(同市森下町)の松葉清幸社長(47)が畳の特徴や製造工程を説明。「畳の成分には心を静め、集中力を高める作用がある。和室で勉強すると正答率が上がる」という調査結果もあることを紹介した。生徒は、約20センチ角の「ミニ畳」の製作に挑戦。マイスターに教わりながら、思いの畳を仕上げた。

1年中西司さん(13)は「面白かった」と繰り返し、同岩田晏奈さん(12)は「畳の部屋で勉強してみようと思う」と話した。

厚労省の事業で、県職業能力開発協会が催した。

写真 高 組 撮影 元高松 さん(町IIの 花岡町 ひだし 部サロ 四季折 のコラ 楽しま まで。 水口 後、趣 俳句を 最近2 点を展 ツバ で口を ている うとし めた写 親翻